

今月の一言

キーワード：がんばろう！日本

「宣誓。 私たちは16年前、阪神・淡路大震災の年に生まれました。

今、東日本大震災で、多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみでいっぱいです。

被災地では、全ての方々が一丸となり、仲間とともに頑張っておられます。

人は仲間に支えられることで、大きな困難を乗り越えることができると信じています。

私たちに、今、できること。それはこの大会を精いっぱい元気を出して戦うことです。

『がんばろう！日本』

生かされている命に感謝し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います。

平成23年3月23日創志学園高等学校野球部 主将 野山慎介

(選抜高校野球大会開会式での宣誓より)

創志学園の野球部は創部わずか半年たらずで、野球部員28人は全員1年生。史上最短となる創部1年の甲子園という快挙。もちろん前例がない！創志学園といっても全国的には知名度はいまひとつだが、学園の歴史は古く、女子高だった「ベル学園」から数えると125年を誇る。幼稚教育から小、中、高、大学の一貫教育、各種ビジネス学校を擁する創志学園グループを形成し、今春にベル学園から校名を変更したばかり。

野球部は環境に恵まれて急成長したわけではなく、創部時の予算は他の部と横並びで約200万円。野球場での練習は週2・3回で、専用グラウンドはなく校内のナイター設備は照明器具も1機しかなく十分とはいえない。選手は県内の部員を一部除き寮生活だが、それも学校が空き家を借りたものだ。選手がみな1年生とはいえ、大阪、兵庫のリトルシニアからの野球留学生が8人以上ベンチ入りしている。少年のころから鍛えられ野球をよく知っている。さらにいい指導者長澤宏行監督(57)はとかく評判の監督で、05年センバツでは当時創部2年の神村学園(鹿児島)を率いて準優勝している。女子ソフトボール界の名将としても名高く、アトランタ五輪で日本代表のヘッドコーチもつとめた。

震災以降、想定外の事態が起き、行政や企業は今までの“価値観や考え方”を180度？

変えようと、いや“変えざるをえなく”なっています。

今の行動でいいのか？新しい行動を・・・

2011年4月25日

さいのう とおる

追伸：楽しく、趣味や仕事を行う準備は万端ですか？ 先を考えて、段取り八分をお願いします。